「Vision2030における教育DX推進方針」

本学の中期計画「Vision2030」では、各教育事業においてＩＣＴを利活用した変革に取り組み、質の高い教育の実現を目指します。学修者本位の教育を実現するために必要なＩＣＴ環境や教育支援の体制を整備し、時代の変化を見据えた教育DXを推進します。DX推進にあたっては、本学情報セキュリティ方針に関する細則に基づき、適切な情報セキュリティの確保を図ります。

＜計画例＞

ICT等環境整備	メディアルーム・PCルーム機能見直し、看護技術演習動画撮影
ICTを利活用した変革	manabaによるDP評価
ICT活用・連携工夫による改善・改革	SPHオンライン教育（リアルタイム授業・オンデマンド授業・ハイブリッド授業）をケーススタディとした今後の授業デザイン検討 海外機関との共同授業 GPA・manaba出席状況チェック・アドバイザー制度の連携 授業評価結果の速やかなフィードバックによる教育改善
デジタルリソースの充実	図書館デジタルリソース、キャリア支援リソース
教育支援体制整備	ＩＣＴを利活用した授業設計支援、個別相談・指導、ヘルプデスク設置
情報セキュリティ確保	学生・教職員 eラーニング等による啓発

2023年度重点目標における「ＩＣＴの利活用による教育の質向上」関連項目

中期計画	重点目標2023	アクションプラン	尺度	目標値
（1）学修者本位の教育を実践するための教学マネジメント体制構築	「学修者目線」を重視した教学マネジメントの確立	【看護学部】 DP達成度評価制度の整備とカリキュラム評価制度との統合	①manabaを利用したDP達成度評価システムの整備 ②カリキュラム評価におけるDP達成度評価の位置づけの明確化と規定の作成	①システム運用に必要なマニュアルの完成 ②規定の作成
		【看護学部】 現行カリキュラム2020の評価を踏まえた新カリキュラムの方針策定	①カリキュラム2020に起因する課題の把握と対応策の検討 ②カリキュラム2020の評価 ③新カリキュラムにおける改正点の決定と作成スケジュールの明確化	①課題と対応策の明文化 ②評価結果の作成とフィードバック ③100%
		【看護学研究科】新規科目等の開設と普及	家族看護CNS開設有無の決定 開設の場合のカリキュラム作成・担当者の決定 家族看護周知のためのセミナー等の開催 ヘルス・ヒューマニティーズ科目の普及	100％ 100％ 1回以上 3科目/3科目
		【公衆衛生学研究科】コンピテンシー教育カリキュラムの促進	2023年度入学学生によるコンピテンシー達成度自己評価実施率	100%
		【公衆衛生学研究科】実践実習（APE）の開始	専門職学位課程1年コース学生のAPE修了	100%
（2）時代の変化を見据えた教育改革	1）志願者増加を目指す広報戦略の改善 2）学修環境におけるデジタル化推進 3）教育変革を実現する学内外教育連携推進	受験生の増加（看護学部・看護学研究科（DNP)・公衆衛生学研究科）に向けた広報戦略（オープンキャンパス、広報活動）	受験生数	前年比増
		【看護学部】DX教育推進に向けた学生のレディネスの促進	①学内IT機器の学生使用における課題の抽出（ハード面） 学内PC使用状況調査、過去5年間の学生の学内PCおよび，プリンター使用における事故・アクシデントの把握、学生の学修・学校生活におけるITリテラシーの把握 ②本学の授業・学校生活に即したITリテラシーの課題抽出とセミナー実施	①100% ②100%
		【公衆衛生学研究科】 オンライン教育（ハイブリッドを含む）方法の改革	シラバスガイドラインの改訂 （履修形態の選択基準をシラバスに明文化 履修形態による成績評価方法をシラバスに明文化）	100%
		【公衆衛生学研究科】連携大学院拡大による教育・研究体制の充実	連携大学院教員による研究教育の実施	3件/年
		【公衆衛生学研究科】外部国際/研究機関との連携推進（国内外）	外部機関との連携・活動の実施	3件/年
		【教務】学籍の異動をタイムリーに把握するシステム整備	学籍変更に係る届けのペーパーレス体制に向けた課題の抽出	100%
		【図書館】電子図書を増やし、多様な環境での学習を促進する	**新規電子図書購入数**	100タイトル
		【国際】After COVID-1国際連携による多角的なグローバルな学習機会の提供	・学生海外派遣数 ・短期海外研修受入数 ・協定校等、海外の大学との共同授業実施数	**80名/年** **5組/年** **2回以上/年**
		【地域】After COVID-19地域で暮らす市民の健康生成を目指す活動への学生の参画	・学生が参加した活動数（各種PCC事業、るかなび等）	5以上/年
（3）学生の多様なキャリアを支援	社会の変化と学生の多様化に対応した進路・キャリア支援の基盤構築	個々の学生にあった卒業・修了後進路選択のための支援体制整備	【全学】キャリア支援提供スペースの設置とサービスの開始（①求人情報提供 ②個人相談（就職・進学）③各種ガイダンス 企画・実施）	①②③実施
			【看護学部・看護学研究科】 ①学生がアクセスできる過去5年間の卒業生就職先リストの作成（学部・学士） ②学部新規科目(就労・キャリア概説）の検討 ③卒業生・修了生による就職フォーラムの実施 ④卒業生の就職先への訪問 ⑤アドバイザー対象の就職支援FD ⑥大学院学生のアドバイザー制度の認知度	①100% ②科目の検討と学則改訂 ③100% ④100% ⑤100% ⑥学生生活調査で認知度80%

アウトプット指標：DP達成度評価100％実施
アウトカム指標：（4年生）7つの能力それぞれが6割以上達成できること